

さぬき市の移住施策について
 (※事業は第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋)

基本目標	基本施策	具体的な施策	KPI	R4年度目標値	R4年度実績値	R6年度 (最終年度) 目標値	良い点	悪い点
2 さぬき市への人の流れをつくる	(1)若者などの移住・定住の促進	若者世帯等の定住促進施策の推進(三世同居等の奨励)	移住組数	78組	65組	80組	移住相談数は増加。 移住に関心を持つ人が増えている傾向にある。	三世代での子育てを支援することにより、人口増加につながるよう広報活動を行う必要がある。
		住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進	住宅新築軒数 ※課税年度ベース	140軒	116軒	150軒	住宅リフォーム支援事業は令和4年度までの時限事業であったが延長した。	住宅を取得した後に当該事業を知る人が若干多いことから、より広く周知できるように広報を行う必要がある。
		空き家の利活用推進と空き家リフォーム支援制度の継続	空き家バンク登録物件数	47件	37件	50件	空家等対策プロジェクト会議や空家等対策協議会で意見交換を行うなど取組には一定の進捗があった。	空き等家の利活用の促進に向けた具体的な取組を進める必要がある。
		移住ガイドツアーの実施	移住ガイドツアー参加者数	37人	0人	40人	ガイドツアーを行うことで、具体的にまちでの暮らしをイメージできるため、継続したい。	新型コロナウイルス感染症拡大の不安感から、希望がなかった。
		移住体験ハウスの充実	移住体験ハウス年間利用件数	18組	12組	20組	世の中がウィズコロナに順応してきた上に、移住への関心が高まっていることから、前年度(3組)と比較し、移住体験ハウスの利用件数は増えた。	ウィズコロナに対応した様々な移住体験メニューを整備することが必要である。
		田舎暮らしの優位性をPRする取組の強化・推進	PR回数	5回	9回	10回	ウィズコロナに対応した形で、対面でのPRイベントが増えた。	Uターン促進動画も作成し、移住促進を推進するコンテンツが増えたことにより、引き続き積極的にイベントやHP等でPRしていく必要がある。